

事務局から

▼本誌「教育情報」が、近く一〇〇号を迎えます。その記念号の特集テーマは「見直したい学びの場・地域の育てる力」新自由主義の波で地域と子ども・学校はどう変わるうとしているか」（仮題）です。本県では新自由主義の「構造改革」に伴い急速に小中学校の統廃合が進みました。全国一の市町村合併によって七割弱を占める小規模校はさらに減らされるのが予測されます。小規模校だからこそできる学校と地域を結ぶ教育が、どう子どもを育てているかを明らかにしたいと思います。

▼次号99号の特集は、現役世代と共に社会を構成する一員として、高齢者の社会参画に視点を置き、「団塊世代の生涯学習を考える」（仮題）を計画しています。人は生涯人間として発達するといわれています。定年後八〇歳代までの新たな人生をどう生きるか、自ら作り上げる「生きがい」をどう見出し、過ごしているか、共に考え、交流してみませんか。（内山）

編集後記

▼ここ数年「貧困」や「教育格差」が多く論じられるようになりました。今回の特集が「焼き直し」になることを恐れつつ特集を編集して、あらためて「貧困」と「教育格差」が新潟でも緩やかだが、しかし確実にすすんでいることが実感させられました。▼政府はOECDの報告で、日本の子どもたちの貧困率が高いことを指摘されても、「データが信用できない」とか、その「改善」しているなどと言い訳しています。生活保護基準以下で生活している人のなかで、どれくらいの人が生活保護を受給しているかを示す「補捉率」も調査していません。貧困の状態を示す具体的な数字も捉えずに、有効な対策がでてくるとは思われません。「貧困は本来あってはならないもの」（岩田正美）という認識が政府には必要です。▼教員免許更新制がスタートしました。来年3月までに77,000人の先生が受講対象になります。拙速に絵を描いたようなスタートです。先生方がますます多忙になることが懸念されます。

▼タスマニアからの留学体験記を送ってくれた本田さんは、当研究所の所長をされた故八木さんのお孫さんです。これからの連載がたのしみです。活躍に期待します。（大滝）



にいがたの教育情報 No. 98

2009年6月24日発行

編集・発行 にいがた県民教育研究所

発行人 小林 昭三

〒951-8116

新潟市中央区東中通1-86 山崎ビル

TEL・FAX (025)228-2924

振替口座・00640-0-12332

Eメール kyoiku@triton.ocn.ne.jp

印刷所・神林印刷

TEL 0254-66-7959